

スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議

# 総合型地域スポーツクラブにおける スポーツ指導の実態

NPO法人アクアゆめクラブ 木間奈津子

# 総合型地域スポーツクラブにおける指導の在り方

‘子どもから大人まで遊び感覚で

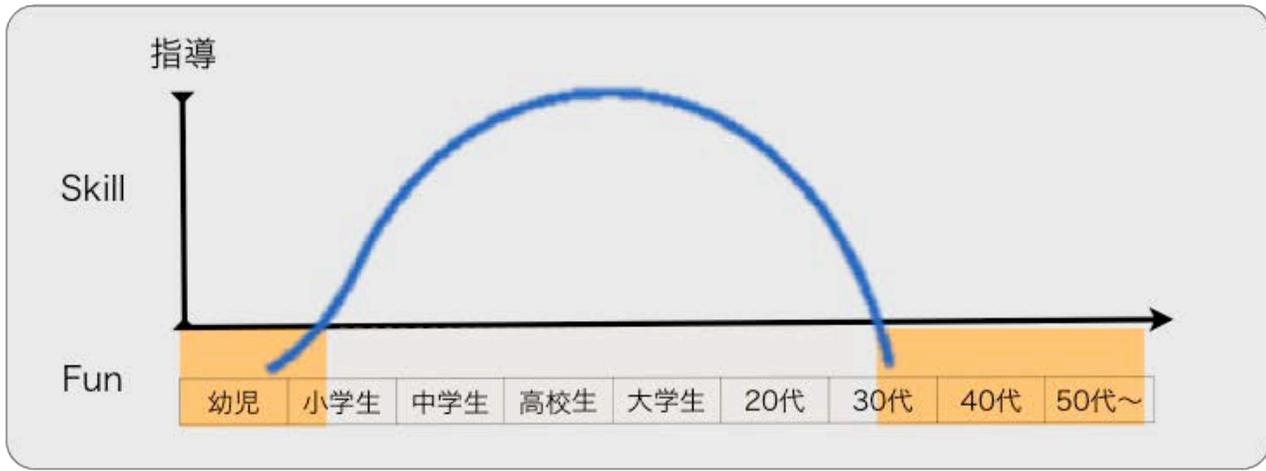
**夢中になれる場**の創り手であること’



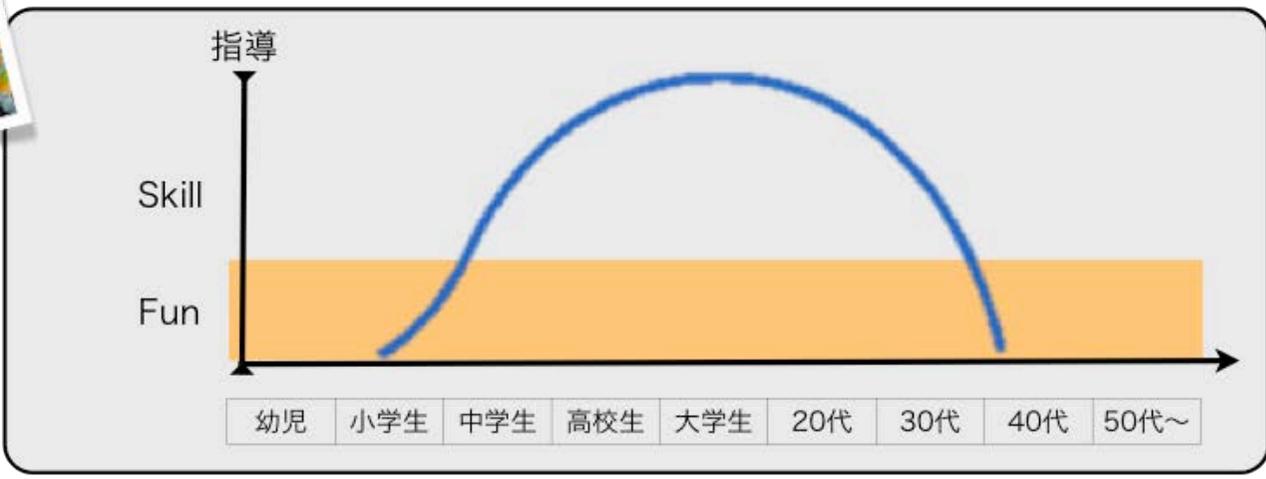
# 地域スポーツ指導者の現状と課題

1	指導者のオーバーティーチングによって、子どもたちへの問いかけが少ない結果、考えることや話を面倒と感じる子ども（指示待ちする子）が増えている。
2	男女が参加するスポーツ現場において、種目によっては指導者が男性のみとなるケースがあり、女子特有の相談を受けたり、助言ができる環境・体制が整っていない。
3	地域で開催される指導者講習会・育成プログラムの内容が指導現場での課題解決や資質向上に繋がっていない。義務研修会の回数が少なく、指導者が学ぶ機会が少ない。
4	家庭教育（親の躰）と指導現場との温度差や指導内容に対する保護者の理解が乏しい。また、保護者自身がスポーツの本質を理解する機会がない。

# 地域スポーツ指導者に求められる資質能力

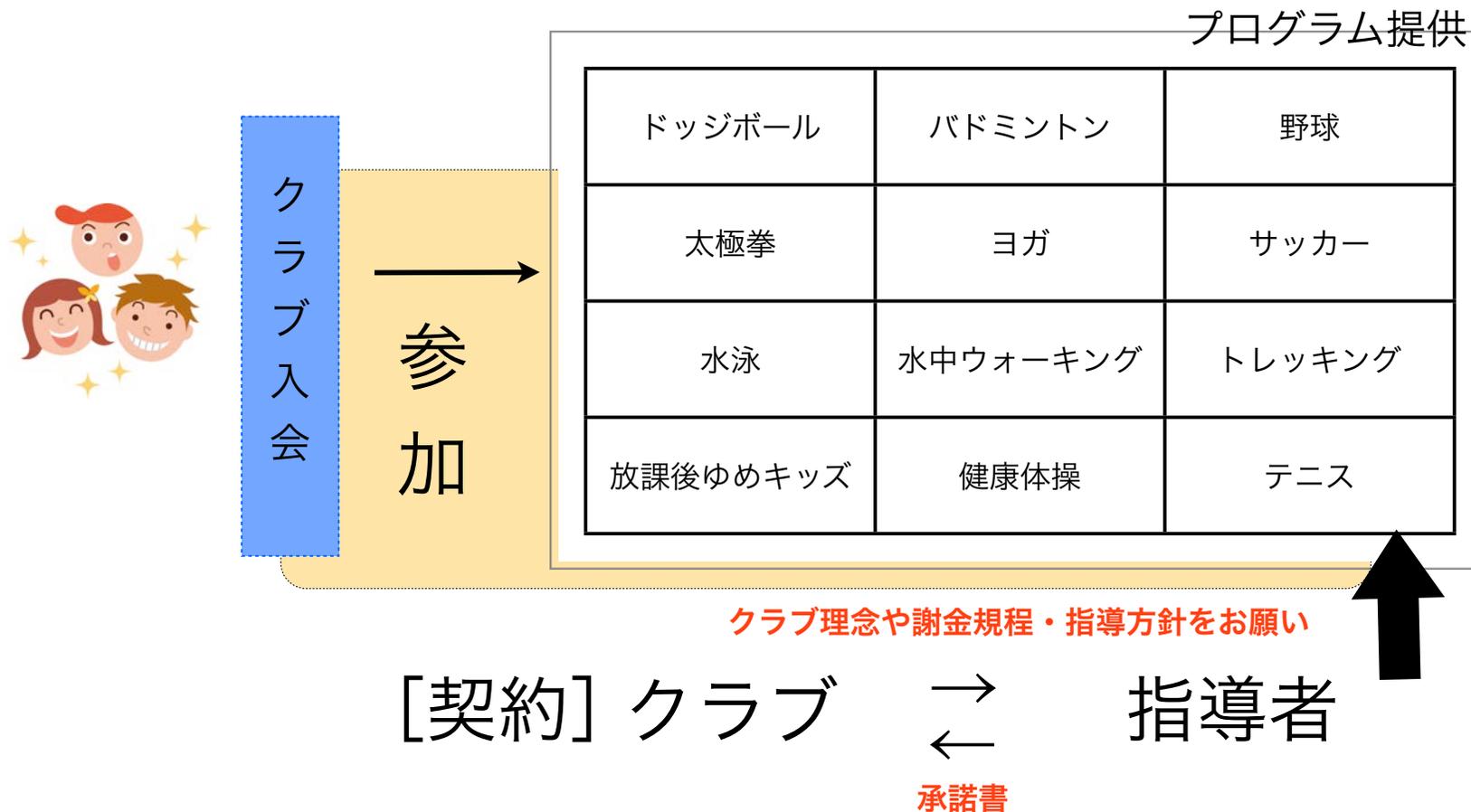


単なる技術 (Skill) の指導ではなく、  
スポーツの本質を理解し、楽しみ (Fun) から技術 (Skill)  
までを子どもたちに経験を通して伝えることができる



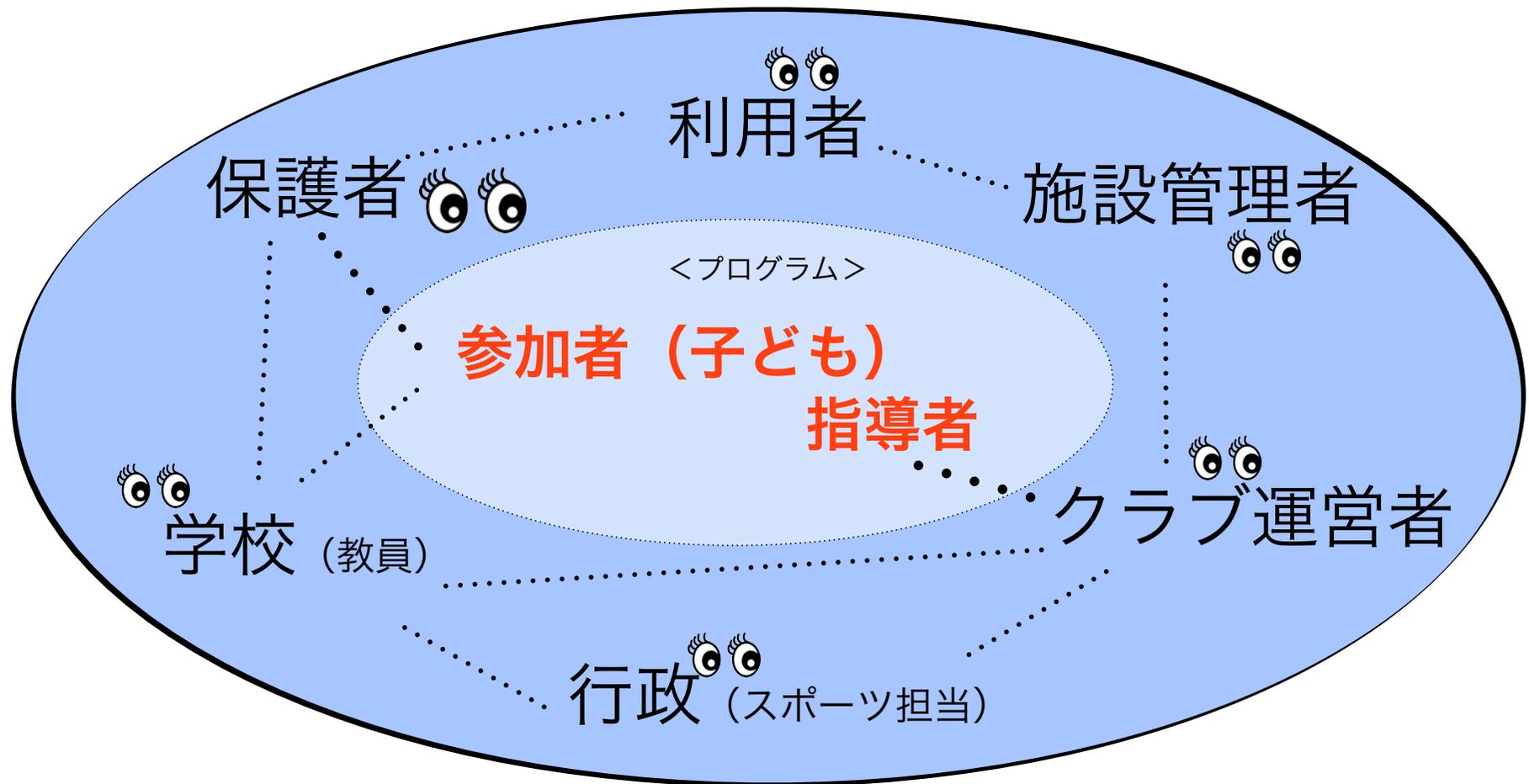
# リスクマネジメント

体罰が起きたとき、クラブがこの地域から消えることは十分考えられる



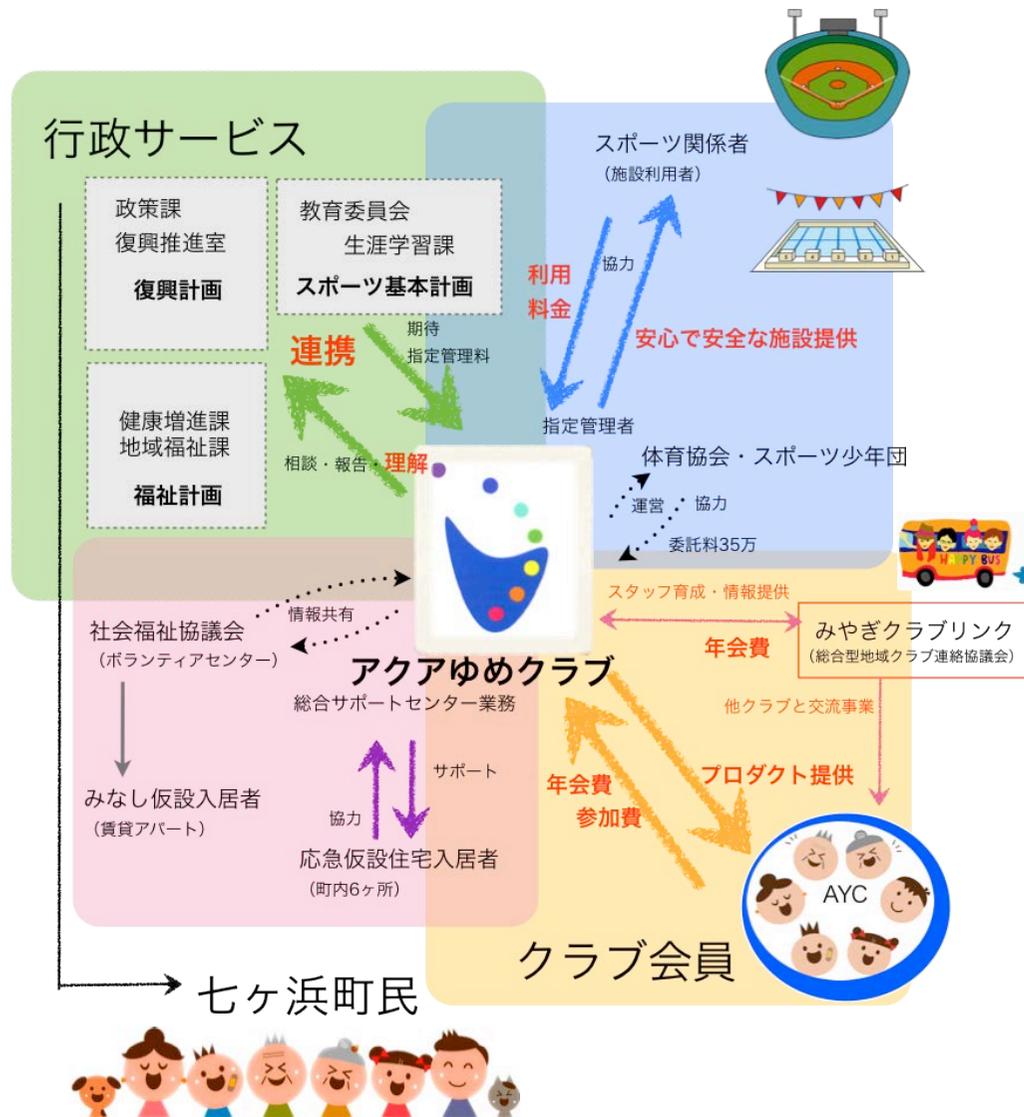
- ・ 指導者は、クラブの指導方針にもとづき、経験を活かした指導に取り組む
- ・ クラブは、指導者がクラブの指導方針を遵守した指導を行っているか現場を確認する
- ・ クラブと指導者は、参加者の声を取り入れ、プログラムの充実を図る

# スポーツ現場（指導者を取り巻く環境）



総合型クラブにおけるスポーツの享受は、指導者と参加者（子ども）の関係性だけで行われるわけではなく、より多くの立場の存在があることで健全に保たれている

# 望ましい地域スポーツ（指導者育成）のあるべき姿



1	<p>スポーツ基本計画とアクションプラン、そして評価と修正を誰の為に誰が行い、誰が説明し、誰の評価によって修正するのか</p> <p>↓</p> <p>指導者育成についてより具体的なプランを策定し、義務研修を開催する</p>
2	<p>「学校教育」「社会教育」「家庭教育」それぞれの立場が地域スポーツの現状や子どももの体力変化等を把握する</p> <p>↓</p> <p>それぞれの立場で地域全体を俯瞰したときに同じ方向性を定める</p>
3	<p>総合型クラブがあいだと取り持つ多様な連携により、幼少期のスポーツ教育に取り組む</p> <p>↓</p> <p>親子でスポーツ教育を経験することでその後のスポーツの本質に関する理解を高める</p>